【総合政策学科　国語基礎学力型】

<table>
<tr><td rowspan="6">問一</td><td>（1）</td><td>（2）</td><td>（3）</td><td>（4）</td></tr>
<tr><td>横行</td><td>憤</td><td>温床</td><td>根幹</td></tr>
<tr><td>（5）</td><td>（6）</td><td>（7）</td><td>（8）</td></tr>
<tr><td>的確</td><td>偶然</td><td>犠牲</td><td>指摘</td></tr>
<tr><td>（9）</td><td>（10）</td><td colspan="2" rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>開拓</td><td>維持</td></tr>
<tr><td>問二</td><td colspan="4">チケット転売は売り手と買い手の双方が便益を得るため、価値を生み出す正当な行為だという説明。（45 字）</td></tr>
<tr><td>問三</td><td colspan="4">チケットの配送保証、本物保証、座席内容保証、入場補償、代替チケット手配、公演中止・延期補償を完備しているということ（57 字）</td></tr>
<tr><td>問四</td><td colspan="4">超過需要を作る考え方には、チケットを取れないファンへの配慮がないから。（35 字）</td></tr>
<tr><td>問五</td><td colspan="4">近年チケット転売が問題視されている。それは、本当にチケットが欲しいファンに行き渡らない、アーティストとファンの良好な関係が壊されてしまう、高額転売された利益はアーティストに還元されないといった理由に基づく。しかし伝統的経済学では、コンサートを高く評価する熱狂的なファンであれば高額なチケットでも購入するため、チケット転売は売り手と買い手の双方にとって有益で効率的な行為であると考えられている。
近年のこのようなチケット転売問題に関して、私は転売を禁止することが望ましいと考える。それは、芸術行為としてのコンサートに金銭的な思考が介入することは不適切であるという考えに基づく。高額転売されたチケットを購入した場合、「大金を払ったのだから、コンサートを楽しまなくてはならない」という自己正当化バイアスが働き、コンサートを純粋に楽しめなくなってしまう。また、近年は枚数に制限のない配信チケットの販売も増えており、大金を出してチケットを購入する必要はない。したがって、コンサートの芸術としての純粋性を維持するためにも、私は金額を吊り上げたチケット転売は望ましくないと考える。（482 字）</td></tr>
</table>